


旅行者にありのままの日常体験を提供するまちごとホテル SEKAI HOTEL	取組開始時期	2017年6月～	取組の カテゴリ	地域活性化
--	---------------	----------	---------------------------	-------

1. 団体名	SEKAI HOTEL株式会社	2. 連携先の団体	東大阪市ツーリズム振興機構、布施商店街連合
---------------	-----------------	------------------	-----------------------

3. 取組目的	地方の遊休資産を有効活用、観光資源のない地域でも文化の可視化・価値化することによる観光・移住促進、関係人口の増加で持続可能な地域コミュニティの形成。	4. 関連するゴール	
----------------	--	-------------------	---

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

基本情報

地域の“**ORDINARY(日常)**”を体験することをコンセプトに掲げ、点在する空き家をリノベーションし客室に転換、既存の喫茶店と連携し朝食会場として利用したり、まちの銭湯を大浴場として利用する「まちごとホテル」を東大阪の布施で展開している。

ホテルや街が観光客にホスピタリティ溢れるサービスを提供するという考え方ではなく、**地域×ゲスト×SEKAI HOTELの三者間でフレンドシップを基本としたコミュニケーションを行う**ことで、観光地として消費される形ではなく、ホテルを起点とした持続可能なまちの活性化を目指しています。

SEKAI HOTELでの宿泊を通して布施のまちの喫茶店や銭湯を利用し、スタッフのアテンド付きの商店街食べ歩きツアーなどを通して、ホテルだけでなく地域にお金とコミュニケーションが広がり循環するモデルとなっています。また、未来につながる取り組みとして、全てのゲスト様一泊につき200円を積み立て、地域の子ども向けのイベントを運営しています。宿泊後の接点を多く持つことで、まちに根付くホテルの持続可能なまちづくりを実施しています。



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

- 空き家をリノベーションしホテル客室として活用
- 地域事業者と提携することで観光客がまちを周遊する仕組みづくり+経済的利益の発生
- 宿泊費のうち1泊200円を地域支援活動資金として積み立て、リノベーション費や地域子供向けイベント費として活用

ステークホルダーとの連携

- 東大阪市ツーリズム振興機構
- 提携店
- 地域住民
- リノベーション会社、物件所有者
- 地域事業者
- 大学（ケーススタディとしての使用、インターシップ制度）

モデル性・波及性

- 観光資源に乏しい地方でも横展開可能な地域活性化モデル
 - ↳遊休資産を有効活用するため大規模な開発が不要
 - ↳地域事業と提携することで地域経済循環促進
 - ↳地域文化を可視化し、宿泊体験コンテンツ作り及び発信

自由記述欄

東大阪の歴史を客室デザインに

東大阪は町工場が多く、“ものづくりのまち”として知られています。中小企業が多く集まり、日本一事業者密度が高いまちです。それらの歴史を客室デザインとして取り入れ、客室な“泊まれる町工場”をコンセプトとして設計しています。また、客室で使用している照明、ソファ、テーブルなど家具の一部は実際に東大阪の町工場で作っているものを使用し、宿泊したゲストが実際に購入できるようになっています。



東大阪市ツーリズム振興機構との連携事例

ステークホルダーとの具体的な連携事例として、2019年ラグビーW杯開催にあたり東大阪市ツーリズム振興機構と連携し観光客の誘致とランディングページの制作を実施。ラグビーを目的として東大阪市を訪れた観光客に、東大阪や布施のまちへの誘致活動を実施しました。

<https://www.higashiosakatourism.com/stayeast/>

STAY EAST

ABOUT WHOLE DAY PLAN PHOTOGENIC PLAN SPOTS

